

道徳

中学校 第2学年

OS・ソフト等

- ・Windows タブレット
- ・SKYMENU Cloud

<単元・題材名等>

勤労から得られるものとは

ねらい

霧多布で医師として働く道下医師の生き方や考え方について考える活動を通して、勤労の意義や尊さを理解し、それらに対する考え方を広げるとともに、生きがいのある人生を実現しようとする意欲を育てる。

主なICTの活用方法

- ・メンチメーターを活用し、事前に把握した生徒の意識を導入で提示する。
- ・SKYMENUの「ポジショニング機能」を活用し、登場人物の今後の判断について考える。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・他者の考えと自己の考えを比較することで、自己を見つめ、勤労について、多面的・多角的に考えることができる。
- ・自分の立場を明確にすることで、他者と自分の考えを比較し、考えを再構築することができる。

実践の概要

本教材は、登場人物の道下医師が、自分が思い続けていた願いを捨て、地域住民のための医療を行っていくという新たな願いをもち、生きがいのある人生をつかみ取ろうとする話である。

生徒一人一人は、自己の考えをもっているものの、自信のなさや不安から自己の考えを表出することに困難を抱えており、他者の考えから自己の考えを広げていくことが難しい状況にある。

そこで、ICT機器を活用することで、自己の考えを発信することの困難さを軽減し、他者の考えを知る機会を増やす。また、本時の価値に対する生徒の実態を事前に把握し、大型提示装置で提示することで、生徒の考えに基づいて授業を進める。

これらのことにより、勤労の意義や尊さを理解し、自己の生き方についての考えを深められるようにする。

生徒の学びの様子

- 導入時に、大型提示装置を用いて、協働学習支援ツールの「ポジショニング機能」でメンチメーターを提示し、事前に把握した勤労についての生徒一人一人の考えを視覚化することで、登場人物と自分との共通点や相違点について考えながら学ぶことができた。さらに、終末にて、自己の振り返りを行う際、本時の学びを通してこれまでの自分の考えと変容したことを具体的に表現することができる生徒が増えた。
- 「ポジショニング機能」を活用し、自分の立場を明確にして交流することで、登場人物の置かれている状況や葛藤について他者の考えから捉えることができた。仲間の考えを基に情報を整理することで、多面的・多角的に考えることができた。



指導のポイント

- 導入時に事前に把握（メンチメーターにて）した勤労についての生徒一人一人の考えを提示することで、終末段階において教材を通して考えの変容を捉えさせる。
- 「ポジショニング機能」を活用し、登場人物の今後の判断について考えさせることで、登場人物の置かれている状況や葛藤について捉えたり、多面的・多角的に考えたりできるようにする。